

石産協通信

sekisankyo tsuushin

第38号

発行日:
2015年1月15日
《隔月15日発行》



一般社団法人
日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

東京都千代田区神田多町2-9 日計ビル2階
Tel.03-3251-7671 Fax.03-3251-7681
<http://www.japan-stone.org/>
企画・編集・発行: 広報委員会



(一社)
日本石材産業協会会長
いばかつゆき
射場一之

ていねいに生きる

あけましておめでとうございます。

昨年1年間、スポットライトを浴びることもなく、陰で黙々と協会並びに支部運営にご尽力をいただいた皆さんに心から感謝すると共に、これから始まる1年が素晴らしい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

さて、あなたはどのように1年をスタートされたのでしょうか……？

私は「日々ていねいに生き、日々想いを深め、日々情熱を注いでゆきたい」と思いながら、1年のスタートを切りました。

そしてそのためには、本当の強さを身につける必要があるとも考えています。

本当の強さ、それは……主張を通すことでもなく、競争することでもなく、傷つかぬように身を守ることもなく、馬鹿にされ、罵られ、辱められ、笑われても、笑顔で底から立ち上がる——そんな強さのことを言うのではないのでしょうか。

評価・評論より行動を

以前、広島県安芸高田市にある吉田郡山城で「一日一力一心」と刻まれた石柱を見たことがあります。

——その昔、強固な城を造るために人柱を立てる風習がありました。しかし、毛利元就は人間を埋めることを禁じたそうです。そして人柱の代わりに、「百万一心」という言葉を刻んだ石を埋めさせたそうです。“人柱よりも、「百万の人々が心一つにする」ことのほうが大事である」と。しかも、「百」と「万」の字は、あえて崩し、「一日一力一心」と読めるように刻ませました。「日々、みんなが心一つにして力を合わせれば不可能なことはない」といった意味でしょうか。

私はどんな活動も「おんぶにだっこ」ではなく「もちつもたれつ」だと思っています。

世の中を嘆き、批判すると同時に、「わが身」も振り返りたいものです。世の中のことすべてを「他人事」のように語り、自分を棚に上げてはいけなと思うのです。

これは私自身の反省も大いに込めて申し上げるのですが……自分では気づいていないのかもしれませんが、評論家のなんと多いことか。

傍から人のやることを見て指摘だけする。それも何でもわかったような顔をして。

本来、評価というのは認識をした上での行為であるはずなのに、認識しないで評価をする人が多いような気がします。認識せずに評価することを偏見というのではないのでしょうか。

もっと言えば、何も知らないで批判するというのは、人間として恥ずべきことだと私は思っています。何事も自分の目でみて、実際に活動にも参加したうえで評価すべきではないのでしょうか。

大切なのは非難の向こうに何を見ているかだと思います。

自らの経験を誰かを批判するためではなく、誰かを応援するためのものにしたい。どうせなら批判のプロではなく、解決策のプロを目指したいと思います。

人をけなしたり、批判したりして得られる満足は本当の満足ではありません。誰かのために、あるいは何かのために尽くすことでしか本当の満足は得られないと思います。

互いに寄り添いもたれ合っているだけでは、会員一人ひとりにとって役立つ組織にはなりません。そんな組織になるためには、一人ひとりが自ら行動することが必要です。「誰かがやってくれるだろう」と、安易に考えている限り、どこまでいっても、存在意義のある組織は作れません。自ら行動する人と人のつながりこそが、真に意義のある組織を生み、そして歴史をつくる力となるのではないのでしょうか。

心を合わせ、力を合わせ、「石という素材のもつ魅力」を発信して参りましょう。

さらに祈りを合わせて、「お墓参りという暮らしの根ざした真に豊かな国、日本」を築いていくための第一歩を踏み出しましょう。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

連載

全国縦断支部紹介

三重県支部



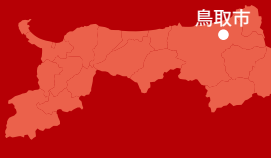


支部長 田中 勝

支部設立 2008年11月
 人口 182万人 男:89万人 女:93万人
 65歳以上占める割合:26.1%
 世帯数 71万世帯
 人口密度 315人/km²
 総面積 5,777km²
 なんでも自慢 ろうそく生産高日本一
 錠・かぎ生産高日本一
 自動販売機生産高日本一



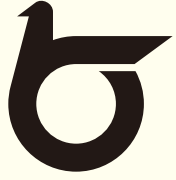
[県章]

鳥取県支部

支部長 井原 陸

支部設立 2008年5月
 人口 57万人 男:27万人 女:30万人
 65歳以上占める割合:28.3%
 世帯数 22万世帯
 人口密度 164人/km²
 総面積 3,507km²
 なんでも自慢 スイカ生産量日本一
 なし生産量・消費量ともに日本一
 「田中さん」人数日本一



[県章]

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?
磯釣り
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?
テレビを観ながら「ワンダーコア」での腹筋運動
- Q.3 くちくせは?
なし
- Q.4 趣味・好きな言葉・愛読書は?
趣味…**庭石の鑑賞**
好きな言葉…**誠心誠意**
愛読書…**なし**
- Q.5 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかず)などを教えてください。
なし
- Q.6 地域の特産物 オススメの一品を紹介して下さい。
ウリの養肝漬
伊賀盆地特産の白瓜の芯を抜き、その中にしそ、生姜、大根、胡瓜等を細かく刻んだ物を詰め、たまり醤油にて1~2年自然熟成させたお漬物。三重の「養肝漬宮崎屋」が販売する鉄砲漬がこの会社の登録商標である。
- Q.7 県内のおススメの観光地はどこですか?
伊賀忍者の里
- Q.8 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。
銀行員
- Q.9 県内の有名な石造物
伊賀上野城の石垣と四日市の常夜燈
- Q.10 支部の活動を教えてください。
会員の親睦に努めています。
- Q.11 お正月のご当地お雑煮
大根と里芋のみそ仕立てにお餅

- Q.1 最近ハマっているものはなんですか?
男の通販「メンズニッセン」
- Q.2 必ず毎日行う事はなんですか?
朝、6時25分NHKテレビ体操。
- Q.3 くちくせは?
「元気でな。」
- Q.4 趣味・好きな言葉・愛読書は?
趣味…**耳かき 愛読書…福祿寿の話 好きな言葉…人は言う、「この世に奇跡などない」と…しかしある人は感じる、「この地球(ほし)も、そしてあなたも私も「奇跡のかたま」ではないかと。**
- Q.5 好きなお酒とおつまみ(ごはんのおかず)などを教えてください。
お酒は鳥取県中部地域産の純米酒「鷹勇」、おつまみは、生のきゅうりにキムチの素を付けてまるごとじる。
- Q.6 地域の特産物 オススメの一品を紹介して下さい。
ゆめ工房21(きらら女川)のかりん糖。女川おからかりんとう(宮城県女川町より鳥取県伯耆町にて再起業された方です。)
- Q.7 県内のおススメの観光地はどこですか。
・**境港市 水木しげるロード(ゲゲゲの鬼太郎ロード) ・三朝町の「投入堂」。**
・**スタバはなかったけど、「砂場」。鳥取砂丘 ・秀峰 大山(国立公園)等々**
- Q.8 もし今のお仕事でなかったらどんな職業につきたかったか教えてください。
唄って踊れる、「石屋さん」。(若干、なってるか!?)
- Q.9 県内の銘石を自慢して下さい。(もしくは有名な石造物)
佐治石(佐治村産) 玄武岩質の火砕岩が風化浸食と流水によって出来たもの。主に作庭に使われました。大山石(秀峰 国立公園大山 周辺広範囲に分布)安山岩。大山を形成。石色が2種類あり、「青っぽい、グレー色」と「赤っぽい、ピンク紫色」。周辺海岸に鳴り石としてまん丸になった大山石が大量にあります。また近年、頂上崩落が激しく「一本一石運動」と称して大山登山者へ登山口にて大山石を携えても、頂上へ持って行くという運動を行っています。
- Q.10 支部の活動を教えてください。
県内に存在する、希少な中世石造物の掌握(確認・視察)を行っております。その縁もあり石造物の宝庫大分県の支部皆様との相互研修交流も行いました。
- Q.11 部員のユニークな方を紹介してください。(理由も)
直前支部長の姫田和雄氏です。(理由)輝いているから(私も見習っております)
- Q.12 土地のものを手土産にもっていくとしたら? 珍回答お待ちしております。
(俳句調で)山陰の、名物「カニ」と、「ハゲアタマ」。(ごめんさい。)
- Q.13 お正月のご当地お雑煮
すまし汁系です。(鳥取県西部あたりは…。山陰地方はいろいろ混在しているようです)

新入会員紹介

会員数:1286名
(2014年12月10日現在)

青森県

佐々木石材店
 会員代表:佐々木達彦
 設立:昭和50年
 業種:墓石

岩手県



株式会社大石
 会員代表:宮崎 充
 設立:昭和49年
 業種:建築・墓石

神奈川県



大津石材店
 会員代表:大津壽夫
 設立:大正3年
 業種:墓石

神奈川県



(有)リライアンス
 会員代表:大沼政和
 設立:平成16年
 業種:輸入卸

富山県



株式会社大越
 会員代表:大越則夫
 設立:昭和49年
 業種:墓石

長野県



有限会社アルプスストーン
 会員代表:柴田武紀
 設立:平成8年
 業種:墓石・輸入卸

静岡県



株式会社周
 会員代表:佐藤周実
 設立:平成11年
 業種:建築・墓石・加工

静岡県



株式会社高須
 会員代表:高須貴太
 設立:昭和2年
 業種:墓石・加工

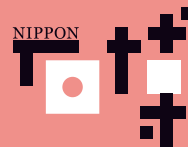
愛知県



高橋石材工業所
 会員代表:高橋康二
 設立:昭和10年
 業種:墓石・加工

NIPPON石博2015 開催に向けて

2015年3月7日(土)・8日(日) 上野恩賜公園



日本石材産業協会が初めて取り組む消費者向けイベント、NIPPON石博2015開催まで、残すところあと1ヶ月半あまりとなりました。ここで改めて、このイベント開催への思いを、述べさせていただきます。

「新フェア」が「NIPPON石博」になるまで

「ジャパンストーンフェア」の開催休止以後、石材業界団体として一般消費者に向けたイベント・機会を設けるべきであるという考えから、協会内に「新フェア実行委員会」を設立、その方向性を探ってきました。開催方法、開催地、様々な条件を検討する流れから、私が新フェア実行委員長に任命されたのが、約3年前のことです。

この3年間、様々な紆余曲折がある中、私は「新フェア」を実現するに際し、大前提として考えてきたことがありました。それは、一般消費者の方に「来てもらう」のではなく、我々が、一般消費者の中に「入っていく」イベントにしたい、ということでした。東京都内では様々なイベントが開催されます。特に食に関する物産展やイベントは、黙っていてもお客様が集まってきます。しかし、「石」のイベントではそうはいきません。普段は石について無関心な方の耳目に接する機会を、人々が集まる場に出向き、こちらから設けることがまず第一歩になるのではないかと考えたのです。

そこで選ばれたのが、今回の開催地である上野公園です。上野公園は土日祝日ともなれば、特別なイベントが行われていなくとも、1万人以上の規模で来場者が見込める公園です。この会場で「石」をテーマにしたイベントを行う。世に石という素材をいろんな角度からアピールする、石を通じた文化を広められるような、まるで博覧会のようなイベントにしたい。これが「新フェア」という卵から「NIPPON石博」という雛が生まれた瞬間でした。

「石屋」であるということ

初対面の方に職業を聞かれた時、皆様はどのようにお答えになりますか？私は墓石の小売を生業としていますが、自己紹介をする際は必ずこう言います。「石屋を営んでいます」と。「墓石屋」や「お墓屋」ではなく、「石屋」と言います。自分でも当たり前のように使っていた言葉ですが、NIPPON石博の準備を通し、自分が「石屋」であるということに気付かされました。自然が長い時間をかけて生み出した天然の素材であり、記録素材として、建築素材として、唯一無二の存在である石。この石という素晴らしい素材を、私自身もっともっと知らなければならぬし、一般消費者の方にも、もっと愛着を感じて欲しい。「石屋」としてのチャレンジが、この石博というイベントに結実するのだと思います。[NIPPON石博2015 実行委員長 二上昌弘]

委員会・部会の活動

関連部会

金箔実技講習会開催報告

2014年12月4日(木)

関連部会は大阪府支部と共同で、長崎県(株)石心 専務取締役 埜中雄吾氏、福岡県 柳金箔(株) 柳 司郎氏を講師に迎え「金箔実技講習会」を大阪市内で開催しました。墓石の文字や家紋に金箔を施す慣わしは九州地方に多くみられますが、今回の企画は、金箔を施す知識や技術を学ぶだけではなく、新たな発想やアイデアで、文字や絵に金箔を入れる事で、墓石製品自体の付加価値を上げることができないか？を参加者に問いつける内容でした。講習会参加者は、33名であり、関連部会としても今後、要望があれば、他の地域でも開催して行く考えがあるとのことでした。また講習会終了後、大阪府支部との懇親を兼ねた忘年会も開催されました。[広報委員 永谷吉局]



なかなかうまくいきません・・・。

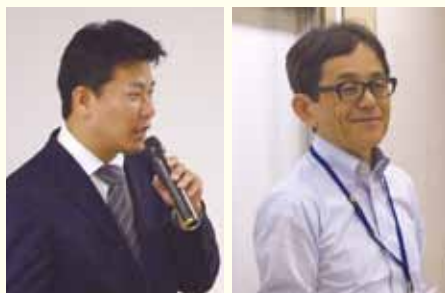
輸入卸商部会・関連部会合同会議

部会合同会議のお知らせ

2015年2月12日(木)・13日(金)

この度、輸入・卸商部会と関連部会で合同の部会合同会議が京都で開催されます。個別会議はもとより、合同会議が開催されると言う事で双方の会員による活発な意見交換が期待されます。

また翌日は、研修企画として古都京都の文化財、石庭見学が開催される予定です。京都の冬は寒いですが、昼食には龍安寺内で湯豆腐も堪能できます。ぜひ合同会議と研修会に参加申し込みをしてください。(両部会員の方へは、FAXにてご案内しております。)[問合せ先:石産協事務局]



望月部会長

竹ノ内部会長

建築環境部会

急激な円安について

建築環境部会では12月9日に行われた部会での情報交換で急激な円安対応について話し合われました。そこで、このたび、ゼネコンや現場へ現状をアピールする為の要望書ひな型を作成しました。

すでに建築環境部会員にはメールでひな形を配信しておりますが、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

また、建築環境部会では市場の動きや需要に対する情報交換を積極的に行っております。次回は2月18日(水)東京都神田にて部会開催いたしますので、ぜひご参加ください。部会員の皆さまには追ってご案内いたします。[部会長 谷本 弘]



谷本部会長

お墓ディレクターNEWS

開催日迫る!! 第11回お墓ディレクター検定試験 1級178名、2級484名が受検!

2年ぶりの開催となる「第11回お墓ディレクター検定試験」が1月28日(水)に全国7会場にて開催されます! 1級、2級あわせて662名が新しい検定にチャレンジされます。お墓ディレクター委員会のメンバーも全会場へと散らばり、会場設営や検定運営のサポートを行います!

札幌		仙台		東京		名古屋		京都		岡山		熊本	
北海きたえーる		ショーケー本館ビル		TOC有明コンベンションホール		ウイंक あいち		京都テルサ		岡山商工会議所		熊本市国際交流会館	
1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級	1級	2級
6	7	7	64	63	193	24	36	29	73	42	91	7	20

各会場の受検者数



試験の様子

▶ 第7回お墓ディレクター資格更新・申請の手続きについて

認定番号をご確認ください、今回は04-または09-で始まる方が対象です。対象者には手続き書類をお送りしています。1月末までにお手元に届かない方は石産協事務局まで至急ご連絡ください。更新申請期限:2015年3月31日(火)※当日消印有効

- 提出書類**
- 更新申請書 :写真・郵便振替払込受付証明書を貼付したもの。
 - 1級▶課題レポート:400~800文字程度にまとめたもの。同封の原稿用紙以外でも可。
 - 2級▶解答用紙 :同封の更新用問題の解答を記入済みのもの。

▶ お墓ディレクター1級取得者研修会 開催告知

日時:3月25日(水)午後~講演セミナー
26日(木)午前~視察研修

会場:京都

テーマ:「変わる日本人の墓意識」

講師:村田ますみ氏(日本海洋散骨協会会長)
大橋理宏氏(大橋石材店・神奈川県)

受講対象者:お墓ディレクター1級取得者(限定50名)

東北地区全体会議 2014年11月6日(木)・7日(金) 福島県郡山市 磐梯熱海温泉ホテル華の湯

低迷する業界からの脱却を目指す掲げ、菊地善孝東北地区長の主導のもと行われました。講師には葬儀相談員として活躍されている市川愛氏を迎え、話題の終活についてご講演いただきました。『終活とは一営業時における話題提供』とした講演は、日々の仕事に役立つ充実した内容でした。翌日は福島県の採石場と加工工場を見学。福島では原発事故による風評被害がまだ癒えず、苦難が続いていますが、このような機会に参加者に現状を伝えていくことが重要で地区支部内の活動活性化と相互交流の目的を果たしました。[広報委員会]



講師:市川愛氏

事業案内 2015 1月~3月

石産協の行事はgoogleカレンダーにて公開しています。支部の活動などもご覧いただけますので是非ご利用ください。URLは石産協ホームページの最新情報からご確認ください。
【会員限定閲覧ページ ID:2014/パスワード:2014】

- | | | | | |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|---|
| 1月27日(火)
正副会長会議
東京都千代田区 | 1月28日(水)
第11回お墓ディレクター検定試験
全国7会場 | 2月18日(水)
全国地区長会議
東京都千代田区 | 2月19日(木)
第3回常任理事会
東京都千代田区 | 3月7日(土)・8日(日)
NIPPON石博
東京都上野恩賜公園 噴水前広場 |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|--|---|

広報委員会から 石産協は、PRAY for (ONE)「小さな祈りプロジェクト」へ参画します!

聞きなれないプロジェクト名です。このプロジェクトは、2015年3月1日をキックオフとして立ち上げの準備を進めています。発起は5団体(日本石材産業協会・全日本宗教用具共同組合・全日本葬祭業協同組合連合会・全日本仏教会・東京都仏教連合会)の広報担当者です。昨年、マスコミで最も話題を提供したのは「墓じまい」という言葉です。「墓」の「墓」というニュースが朝日新聞のトップ面で取り上げられました。どうも、供養業界にとっては、逆風のニュースが多いようです。と言うより、そうした話題の方がニュースになりやすい!?

広報では、2013年より「お墓参り」の大切さを説く目的でキャンペーンを展開しており、年々効果が上がっている感触を得ています。一方、もっと加速をつけてお墓参りの大切さを感じてもらうには、もうひとつ「矢」が必要だろうとも考えています。そこで、消費者の日常にあふれている「元気でね」「いってらっしゃい」「ガンバレ」「うまくいきますように」という「小さな祈り」にスポットを当ててみることにしました。それは、きまった宗教の考え方でなく、全ての人の中にあるポジティブな思いです。「小さな祈り」により多くの人に気づいてもらい、もっと多くの祈りが生まれほしい。そうした行動に気づいてくれる事で「お墓参りの大切さ」へとつながっていくのではないかと考えています。プロジェクトは、個人でもエントリーできるようになっています。是非とも参加ください。

次号以降では、プロジェクトの詳細や進捗状況を報告します。[広報委員会 上野國光]

編集後記 [広報委員 小田和比古]

2014年も、各地での会合、イベントが目白押しでした。本年も、リニューアルされたディレクター試験、初開催のNIPPON石博など、多くのイベントが予定されております。

是非本年もこの石産協通信をもって、行われた会の内容確認と、これから開催される会の予定チェックにご利用いただければと思います。そして、各会への積極的参加も是非!!!

情報 石産協事務局【広報委員会】宛
は E-mail office@japan-stone.org
Fax. 03-3251-7681

お待ちしております!